

P_05 リサーチ・アドミニストレーション組織が成長するための京都大学URA 育成カリキュラム

天野絵里子、橋爪寛（京都大学 学術研究支援室）

- 【背景】 URAは新しい職種であり、共通の知識体系が十分に確立されているとはいえない。
 KURAの人材の多様性を強みを組織で効果的に活用するためには、共通の基盤的知識が欠かせない。
 【目的】 リサーチ・アドミニストレーションについて幅広い知識と優れた技術を有するURAを育成すること。

達成目標

競争的資金申請書の作成支援ができるようになる

科目

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. URA業務 | 8. 特許と大学の知的財産活動 |
| 2. 政策・競争的資金制度 | 9. 産官学連携 |
| 3. インタビュー | 10. 情報探索基礎 |
| 4. 研究プロジェクト | 11. 契約 |
| 5. 研究費 | 12. 申請書の書き方 |
| 6. 広報・アウトリーチ | 13. ヒアリング審査対策 |
| 7. 研究倫理・コンプライアンス | 14. 演習+演習解説 |

達成目標

研究支援プログラムの企画書が作成できるようになる

科目（案）

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. マインドセット | 4. プログラムの企画・計画 |
| 2. 問題発見 | 5. プログラムの実施 |
| 3. 問題解決方法の創出 | 6. プログラムの評価 |

共通の高度な知識・技能と専門性を兼ね備えた大学の経営人材を育成

URAの業務、適正に応じて専門領域の知識・技能を高度化

レベル3 専門領域

レベル2 支援プログラムの企画・運営 平成28年度より試行・実施

レベル1 競争的資金申請支援 平成25年度より実施

各URAが講義やワークショップで知識・技能を獲得

各種の支援プログラムをチームワークで実践

京都大学URA育成カリキュラム × On the Job Training (OJT) = KURA

科研費

CREST
さががけ

RISTEX

財団

産学連携

その他の申請支援

SPIRITS
学内ファンド

いしずえ
学内ファンド

分野横断

みがき
英語論文校閲支援

国際

広報

学際

産学連携

大学経営

各分野

リサーチアドミニストレーションの
知識基盤を確立
全員が受講

修了者数
 平成25年度 22名
 平成26年度 13名
 平成27年度 10名

知識の好循環で組織が成長
講師を内部で育成

- ・教えることで学べる
- ・京大の環境を内容に反映できる
- ・お互いの専門性を活かす

京都大学の研究環境を
踏まえた独自のテキスト



レベル1の講義14本は動画で
オンデマンド視聴が可能

URAの高度化と定着に貢献
キャリアパスともリンク

修了証を発行



受講者の声

URAにとって必須の知識を学べた

実践的で今すぐにも業務の参考になる

他大学のURAにも役に立つかも